大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部	教育学部

最終更新日	令和 3 年（2021 年）12 月 17 日

ディプロマ・ポリシー		
1	専門的知識・技能の活用	教科や教職に関する確実な専門的知識を有し，隣接する校種を見通しながら，小学校や特別支援学校における教科指導，生徒指導，学級経営等を的確に実践することができる。
2	コミュニケーション能力	学校の多様な課題に対して，学校組織の一員として考え，行動し，地域住民などと連携・協働することができる。
3	創造的問題解決力	活用的学習や探究的学習などの新たな学びを工夫・デザインすることができ，新たな知識・技能を積極的に学び続ける姿勢を持っている。
4	社会的責務と倫理	教職に対する使命感や責任感，教育的愛情を備え，社会人・職業人としての規範意識やモラル感覚を身につけた行動ができる。
5	地域発展・人類福祉への貢献	・教職に対する使命感や責任感，教育的愛情を備え，社会人・職業人としての規範意識やモラル感覚を身につけた行動ができる。 ・学校の多様な課題に対して，学校組織の一員として考え，行動し，地域住民などと連携・協働することができる。
6	生涯学習力	活用的学習や探究的学習などの新たな学びを工夫・デザインすることができ，新たな知識・技能を積極的に学び続ける姿勢を持っている。

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP						評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3	4	5	6				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	客観試験	教員採用試験	6 月－9 月	毎年	卒業予定者	・教員採用試験合格率	●	●	●	●	●	●	就職進路委員会	各自治体教育委員会	教員採用試験合格率を，目的養成としての機能評価およびカリキュラムの総括的な質的指標として活用する。								●
2	実施中	文部科学省発表大学別教員就職率データの分析	教員就職率	2 月	毎年	前年度卒業生	・教員就職率の国立教員養成系他大学との比較	●	●	●	●	●	●	就職進路委員会	文部科学省	全国の国立教員養成大学・学部の教員就職率との比較により，教員養成カリキュラムの相対的な評価，および改善点のチェックを行う際の指標として活用する。								●
3	実施中	成績分布表の分析	成績分布状況のチェック	8 月－11 月	毎年	全学年	・成績評価の偏りの理由 ・評価の適切性の確認	●	●	●	●	●	●	教務委員会 教授会	教務委員会	成績評価の偏りを確認し，厳密な評価が実施されているかどうかの確認を行い，カリキュラム改善に活用する					●	●		
4	実施中	成績判定資料の評価	単位取得状況調査	9 月，3 月	毎年	全学年	・学期別の単位取得状況 ・卒業要件単位取得状況 ・教育実習参加要件単位取得状況	●	●	●	●	●	●	学生生活委員会 教務委員会 教育実習委員会	学生生活委員会 教務委員会 教育実習委員会	教員養成カリキュラムの適切性・妥当性の評価，学修指導や生活指導の在り方を評価・改善するための資料として活用する。		●				●	●	●
5	実施中	教師力の観点別評価	教師力の観点別評価	9 月，3 月	毎年	全学年	・授業別に設定された教師力の観点別の評価結果	●	●	●	●	●	●	各授業担当教員	教務委員会	個々の授業で習得すべき教師に求められる資質能力の到達状況を評価し，授業内容や方法の改善の資料として活用する。				●	●			●
6	実施中	教育実習	教育実習成績評価	9 月－11 月	毎年	3 年生	・実習の到達目標に対する評価（授業力，指導力など）	●	●	●	●	●	●	教育実習担当教員	教育実習委員会	学校現場における実践の評価を通して，教育実習に至るまでのカリキュラムの改善や実習後の指導上の課題を整理するための基礎資料として活用する。								●
7	実施中	「教職実践演習」の実施・評価	教職実践演習成績評価	2 月	毎年	4 年生	・教育課題の分析力，授業構想力，生徒指導力，学級経営力を実技，レポートを通して評価	●	●	●	●	●	●	授業担当教員	学年メンター会議	学部教育を通して，教員としての必要な資質能力が形成されているかを最終的に確認することで，教員養成カリキュラムの効果測定や改善のための資料として活用する。								●
8	実施中	卒業論文・プレゼンテーションの評価	卒業論文審査	2 月	毎年	4 年生	・研究テーマの意義，研究方法の適切性，論理的思考力，文章表現力を評価	●	●	●	●	●	●	卒論指導教員	各コース会議	大学における学びの集大成としての卒業論文の成績を評価・確認することで，教育課程全体の改善や，研究指導の在り方の評価・改善のための資料として活用する。								●
9	実施中	自己評価シートへの入力	履修カルテ	8 月，2 月	毎年	全学年	・教師に求められる資質能力 ・教師を目指す上での自己課題の認識 ・教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況	●	●	●	●	●	●	学生（自己評価）	教務委員会	義務化した履修カルテの自己評価シート入力を各指導教員がチェックし，DP に基づいた教員資質が身についているかどうかを確認する。4 年生の教職実践演習にて資料として活用し，教員資質の確認を行う。					●			●
10	実施中	質問紙	学部改善アンケート	1 月	毎年	卒業予定者	・カリキュラム・授業満足度 ・学生支援・就職支援満足度	●	●	●	●	●	●	卒業予定者	教務委員会	結果を翌年以降のカリキュラムおよび学生指導体制の改善に利用する。		●		●	●			

11	実施中	質問紙	教育・学修成果の検証に関するアンケート	1 月	毎年	卒業予定者	・カリキュラム満足度 ・学生支援満足度 ・大学施設・設備の満足度		●	●	●	●	●	●	卒業予定者	教務委員会	全学的に実施されるアンケート結果を，各種委員会や教授会で検証し，カリキュラムおよび学生指導体制の改善に活用している。		●		●	●			
12	実施中	相互評価	シラバスチェック	2 月	毎年	全学年	・講座内教員の相互チェック ・教務委員会によるチェック		●	●	●	●	●	●	授業担当教員 教務委員会	教務委員会	各講座内の教員による相互チェックと教務委員会によるチェックを実施し，授業内容や形態，指導法の適切性を確認している。		●	●	●	●			
13	実施中	各種資料改訂	学生等への説明資料の改訂	5 月, 3 月	毎年	全学年	・学部概要および履修の手引き改訂時の学位授与方針の確認		●	●	●	●	●	●	企画委員会 教授会	教務委員会	学部概要，履修の手引きの改定時に，学位授与方針の具体性・明確性を含めた内容・表記について確認し，必要な改訂を行っている。	●							